



地域・病院まもろう

424共同行動・市議会議員など ともに宣伝行動

「424共同行動」(中央社保協や全労連など6団体)では、2月15日(土)に国立駅(東京都国立市)で宣伝行動を行いました。行動は、共同行動の各団体をはじめ都庁職衛生局支部や近隣の病院の労働組合として国立市議会議員など、合計22名で行いました。

都立病院の独法化反対

宣伝では、都立病院の独法化の問題を訴えるとともに公立・公的病院の「再編・統合」の動きを訴えながら424署名に取り組みました。

東京都の小池知事は、19年12月の都議

回答指定日の順守 賃金改善求め



福岡健和会労組に要請する九州地方協の要請団

各地で経営要請行動

要求提出期限を目前に、回答指定日にならず回答することをはじめ、誠意ある対応を求め、経営要請行動が各地で取り組まれています。

九州地方協

九州地方協では、民医連生協部会が、20春闘に向けて、2月4日から九州の民医連生協法人全13法人に対して医労連統一要請書をたずさえて要請・懇談を行っています。要請・懇談では医労連の掲げている「4万円要求」についての説明も行い、一定の理解も得られ、この間の民医連法人の経営についてや、労使関係の問題、共同の運動を展覧させるためにはどうしたらいいのかなど懇談も行いました。

いのちの拠り所となつて いる病院を守る

また中央社保協や自治労連・医労連は、厚労省が全国の公立病院や公的病院のうち424病院の「再編・統合」が必要だと公表したことを紹介し、「この中身は地域の人々にとっていのちの拠り所となっている病院ばかりであり東京都でも10病院が対象になっています。ぜひ署名にご協力をお願いします」と訴え、約1時間の宣伝で73筆の署名を集約しました。

20春闘 すべての組合が 要求提出・スト権確立を

要求提出2/28まで スト権確立2/27まで



大学 部会

20春闘対策会議

日本医労連大学部会は、春闘対策会議を2月8日～9日に開催しました。参加は、10組織41人でした。

会議は、1日目に①基調報告、②全体会(事前レポート報告)、2日目に③分散会、④全体会(分散会報告)をおこない、各組織、各参加者が20春闘で取り組むべき課題と行動をイメージしていききました。

事前に報告いただいたレポートをもとに、①秋の集会以降の組織の拡大・強化の状況、②新歓100%に向けての準備状況、③「労働法制見直し」に関し、職場改善の取り組み状況、④各組織の問題意識がある課題等を共有し、意見交換しました。

分散会は、3つのグループに分かれ、①「20春闘であなたが掲げる要求実現は何ですか?」、②「その要求実現に向けて、あなたはどのように行動しますか?」を参加者一人ひとりが自らの言葉で語り、20春闘を主体的に取り組む「決意と構え」をつくりだす視点で議論を深めていきました。

会議の意見交換を通して、みんなの奮闘で、「8時間働けばまともに暮らせる社会の実現」をめざしていこうと意思統一しました。

「賃金要求」では、最賃1500円を土台にした初任給設定・ポイント賃金要求をしっかりと掲げていく事が大事だと受け止められました。「労働法制見直し」の課題では、岩手医大・横浜市立大から「勤退管理システム」導入の取り組みが紹介され、まだタイムカードも無く、自己申告表での管理の組織がある中で、客観的で適正な管理を求めていくことの必要性を確認しました。「非正規差別NG」では、組合加入対象が正職員だけの組織もありますが、どの組織からも「同一労働、同一待遇」の要求をしっかりと掲げていく意向が示されました。「組織の拡大・強化」では、新歓100%実現の準備の確認とともに、世代交代の課題での取り組み強化の重要性が語られました。

会議の開始前・休憩時には東京医労連の「最賃音頭」が流れ、会議終了後にはみんなで踊り、「最賃音頭」で楽しく運動を広げ、「最賃引き上げ」で「生活改善」をめざしていこうという契機の間にもなりました。

た。要請行動は2月28日までの期間に要請団延べ1000人参加で13法人を回る予定です。



要請前には、進め方や、単組からの説明・強調部分の聞きとりで、しっかり意思統一

関東甲信越 地方協

関東甲信越地方協では、2月19日～3月6日にかけて、地方協各県の相互支援のもと8県の事業所への要請行動に取り組まれます。特にこの間、経営困難な事業所をかかえている長野・群馬を重点県と位置づけています。産別結果を強めようとする声をかけ、普段行かない単組にも激励をかねて訪問し、統一要請書と当該の要求書を提出します。

東北地方協

東北地方協では、2月25日～3月2日にかけて

徳島県

徳島県医労連では、2月25日～3月6日にかけて、徳島労連と合同で経営要請行動を実施。25日の経営4団体要請・懇談を皮切りに、27日からは、「20春闘回答確約行動」として、5日間かけ、自治体や事業所などを回る予定です。県医労連傘下の組合のある医療・介護事業所も含まれ、回答指定日を守るよう強く要請します。

看護師・介護職員の全国一律 産業別最低賃金の 新設を 特定最賃



← QRコードから署名できます。
拡散もお願いします。

ネット署名に ご協力ください!



最賃上げはこちよ
の干渉し・野郎書



トげろ！最低賃金

DW-DAY 渋谷

2月15日は定例のデーセントワークデー。若者で賑わう渋谷、表参道、原宿をサウンドデモで「最低賃金上げろ！」の声をあげました。全労連、国民春闘共闘、東京春闘共闘などが主催した行動で、150人が参加しました。

参加者は、リズムに合わせて、「最低賃金1500円！あげろ！(あげろ)あげろ！」など軽快なリズムにあわせて全国一律最低賃金の実現を求めてコール。沿道の反応も、手を振ったり、動画を取ったり、一緒にコールしてくれたりとおどろきました。



●2020年1月30日、職場内が荒れました。

あずみの里裁判東京高裁で「証拠採用却下」と信じがたい判決が出ました。弁護団の再三の異議・忌避も認めず結審するという有るまじき行爲に出ました。「何のための裁判だったのか?」「冤罪」

「募っているが募集はしていない」など迷言を平気で

●「募っているが募集はしていない」など迷言を平気で

(上野 誠)

「と、司法への不信感を抱くと共に恐怖も感じました。公平な判決が求められる場面で起きた「不公平な判決」に医療・介護現場で働く私達の「未来はどのようなのでしょうか、と大きな不安を感じずにはいられません。この裁判の「事実」をマスコミ含めて「正確な情報」として周りに社会に知らせしてほしいと思います。私達は無罪を勝ち取るまでたかいます!

「と、司法への不信感を抱くと共に恐怖も感じました。公平な判決が求められる場面で起きた「不公平な判決」に医療・介護現場で働く私達の「未来はどのようなのでしょうか、と大きな不安を感じずにはいられません。この裁判の「事実」をマスコミ含めて「正確な情報」として周りに社会に知らせしてほしいと思います。私達は無罪を勝ち取るまでたかいます!

●春闘では、パート労働者の時給UP、一時金獲得し、安定した収入を得られるようにしたい。

●春闘では、パート労働者の時給UP、一時金獲得し、安定した収入を得られるようにしたい。

(岡本 智美)

「言いたい劇場」小菅りや子



新歓準備はじめてますか?

医労連共済だより

3月から5月は日本医労連の組織拡大月間です。とりわけ新歓での加入者は、年間の新規加入のうち7割を占めています。しっかり準備をして、新人100%加入をめざしましょう。

この間の新歓では、新人に身近な職場の先輩や青年から、明るく元気に労働組合加入を呼びかけることで、成果に結びついています。

また、加入呼びかけの中で、医労連共済を紹介することで、労働組合の魅力がよりわかりやすく伝えることができている。より積極的に活用ください。

ザ★クロスワード

出題▶モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

■ヨコのカギ
1 屋根をささえています
3 蕪村の俳句「……や月は東に日は西に」
6 ……は友を呼ぶ
7 ざっくばらん。率直。……に話し合う
8 江戸の佃島が祥祥の地
10 武豊さんの職業
12 オカメやモモイロ、セキセイもいます
14 木の皮から出る粘液
15 10円玉の原料
17 近所の火事。……見舞
19 青森県の県花です
21 和名はサンシキスマレ
23 「莫大小」の読み方は
25 カトリック教会の典礼
26 片目の目くばせ
27 チルチルの妹の名

■タテのカギ
1 ウグイスの別名は?
2 ペットを飼って育てます
3 鹿で有名な……公園
4 楽観的で心配しない性格
5 わずかばかりの謝礼金
7 人気があります
9 ……は小を兼ねる
11 全世界的……マナー
13 円を描く製図用具
16 ペートーベンの交響曲第5番
18 ……づめ。あき……
20 7月24日に開催の東京……開会式
22 無理なく堅実なこと
24 おおよそ。大体の数量

医療の眼

厚労省は1月17日、公立・公的医療機関等に対して、地域医療構想を踏まえた具体的対応方針の再検証を要請する医政局長通知を発出しました。

すでに昨年9月、いわゆる「424病院リスト」として公表されています。

が、今回の通知は、公表したリストにデータの入り力漏れなどがあつたとして、新たに約20施設を加え、医療機関名については、9月の公表が風評被害を招いたなどとして公表しないとしています。

ただし、各都道府県が独自に公表するのは容認するようです。逆に済生会中央病院など7施設は公表され、リストから除外されました。これによって、「再検証」の対象病院は、約440施設となりました。

再検証通知発出は、地域に混乱と不安を持ち込む

再検証通知は、地域に混乱と不安を持ち込む。地域実態を考慮しないデータはそのまま住民参加の地域医療計画を

昨年9月のリストの公表は、医療関係者、自治体を混乱に陥れ、住民の不安を煽るものとなりました。「極めて失礼な発表、憤りを感じる、撤回することを強く求める」「名誉棄損に相当する」「地域の実情を無視、現状とかけ離れている」「ブラックリストだ。撤回をなせ」と、怒りの声「が噴出しています。今回の通知は、厚労省が混乱や不安を招いた本質を、入力漏れなど手続上の問題にすり替え、本質的には無反省に当初の方針を貫徹する姿勢を示しています。断じて許すわけにはいきません。」

3県・5地域を重点支援区域に指定

相次いで批判的な意見が出されているにもかかわらず、安倍首相は地域医療構想の着実な実現をめざすとして、リスト公表後も急性期から回復期への病床転換、官民

13万床の病床削減を狙っています。そうしたなか、すでに、再編の動きが具体的に始まっています。2019年では、遅くとも2020年秋頃までと明記されているため、9月が一つの目安になるとみられています。

地域実態を考慮しないデータはそのまま住民参加の地域医療計画を

日本医労連は地域医療構想が、「身近で必要な医療がうけられない」「お金がなくて医療にかかれぬ」「地域格差や経済格差が原因で、医療へのアクセスが阻害され住民の医療ニーズが反映されていない等、問題を明らかにしてきま

24病院の再編統合をやめさせる共同した取り組みが始まっています。地域医療構想の抜本的見直しを求め、地域の実情に合わせた住民参加の地域医療計画を策定させ、公立・公的病院の果たしている役割を再評価し、維持・発展させる運動を強めましょう。同時に、病床削減の大本には、医師不足があり、医師の長時間労働を早期に解消させることと合わせ、医師不足解消のために、OEC D水準の医師確保を目指し、大幅増員を求めたいきましょう。

鎌倉幸孝